

# あけましておめでとうございませう 年頭にあたり

新年あけまして、おめでとうございませう。

皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、我が国の経済情勢は、原油・食料価格の高騰や米国の大手証券会社の破綻を契機とした株価の大幅下落など、「100年に一度」とも言われる大混乱にみまわれ、景気の下降局面が長期化・深刻化するおそれが高まっております。

このような状況の下、国においては、当面は景気対策、中期的には財政再建、中長期的には改革による経済成長の段階を踏んで日本経済の立て直しを図ることとしております。

本町を取り巻く財政状況は、ますます厳しさを増すものと予想されますが、施策の推進にあたりましては、町民の皆様との対話と信頼を基本に事業の優先順位を明確にし、効率的で効果的な行財政運営に努めてまいりたいと考えております。

まず、「学校教育の充実」では、安全・安心・快適な教育環境の整備を図るため、小中学校の耐震補強及び大規模改修事業に取り組むこととし、平成21年度は、本郷中学校の整備を進めてまいります。

また、「少子高齢化対策」では、中学3年生まで医療費の無料化、第三子以降の出産祝い金、不妊治療の助成拡充など少子化時代、安心して子どもを生み育てることができると環境の整備に努めてまいります。

「健康福祉のまちづくり」では、昨年6月にオープンした保健福祉の拠点施設「上三川いきいきプラザ」を効果的に活用し、将来を見据えた健康、長寿のまちづくりの推進を積極的に図ってまいります。

本格的な地方分権時代を迎え、自立した自治体として将来にわたり大きく飛躍していくため、全職員一丸となつて各種施策の充実を努めてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本格的な地方分権時代を迎え、自立した自治体として将来にわたり大きく飛躍していくため、全職員一丸となつて各種施策の充実を努めてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

上三川町長 猪瀬 成 男



新年明けましておめでとうございませう。

謹んで幸多き新年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

さて、昨年アメリカに端を発した金融危機は全世界に波及し、国内においても産業分野に深刻な影響を与えております。

社会経済情勢は日々めまぐるしく変化し、2002年から続いた好景気も、一昨年頃から後退が始まり、昨年の夏には政府も好景気の終わりを認めました。そして、昨年の「サブプライム」問題が、景気の後退にさらに拍車をかけ、全世界の経済に衝撃を与えました。

こうした中、昨年11月に開催された町村議長会全国大会での決議の中で、経済は停滞して先行きは見えぬ、地域経済は深刻度を増しているという全国町村の実態が報告されました。

分権型社会の実現は町村が望むことではありませんが、地方の少子高齢化や社会保障費の増加により地方財政は一層疲弊しており、全国の町村では地方交付税の増額など国の緊急措置を要請しています。

町議会では行政改革の一環として昨年から議員定数を4人削減しました。16人になったことにより、議員一人当たりの住民からの付託は増加したことに

なります。

従いまして、私たち議員は地域の代表であるという自覚のもとに、住民福祉の向上のため、さらに創意工夫を重ねまして最大の効果が上がるよう努力してまいりますので、どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、議員一同お願い申し上げます。

また、経済的には暗いニュースが多い昨今ですが、皆様におかれましては幸多き一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

上三川町議会議員 松本 清

